

22:6 御使いは私に言った。「これらのことばは真実であり、信頼できます。」預言者たちに霊を授ける神である主は、御使いを遣わして、すぐに起こるべきことをしもべたちに示された。

22:7 「見よ、わたしはすぐに来る。この書の預言のことばを守る者は幸いである。」

22:8 これらのことを聞き、また見たのは、私ヨハネである。私は、聞いたり見たりした後に、これらのことを示してくれた御使いの足もとにひれ伏して、礼拝しようとした。

22:9 すると、御使いは私に言った。「いけません。私はあなたや、預言者であるあなたの兄弟たち、この書のことばを守る人々と同じしもべです。神を礼拝しなさい。」

22:10 また私に言った。「この書の預言のことばを封じてはなりません。時が近いからです。」

22:11 不正を行う者には、ますます不正を行わせ、汚れた者は、ますます汚れた者とならせなさい。正しい者には、ますます正しいことを行わせ、聖なる者は、ますます聖なる者とならせなさい。」

22:12 「見よ、わたしはすぐに来る。それぞれの行いに応じて報いるために、わたしは報いを携えて来る。」

22:13 わたしはアルファであり、オメガである。最初であり、最後である。初めであり、終わりである。」

22:14 自分の衣を洗う者たちは幸いである。彼らはいのちの木の実を食べる特権が与えられ、門を通過して都に入れるようになる。

22:15 犬ども、魔術を行う者、淫らなことを

行う者、人を殺す者、偶像を拝む者、すべて偽りを好み、また行う者は、外にとどめられる。

22:16 「わたしイエスは御使いを遣わし、諸教会について、これらのことをあなたがたに証した。わたしはダビデの根、また子孫、輝く明けの明星である。」

22:17 御霊と花嫁が言う。「来てください。」これを聞く者も「来てください」と言いなさい。渇く者は来なさい。いのちの水が欲しい者は、ただで受けなさい。

22:18 私は、この書の預言のことばを聞くすべての者に証しする。もし、だれかがこれにつけ加えるなら、神がその者に、この書に書かれている災害を加えられる。

22:19 また、もし、だれかがこの預言の書のことばから何かを取り除くなら、神は、この書に書かれているいのちの木と聖なる都から、その者の受ける分を取り除かれる。

22:20 これらのことを証しする方が言われる。「しかり、わたしはすぐに来る。」アーメン。主イエスよ、来てください。

22:21 主イエスの恵みが、すべての者とともにありますように。

「正しい者には、ますます正しいことを行わせ、聖なる者は、ますます聖なる者とならせなさい。」というのがここでの宣言ですが、それはまさに自分で自分を明かにすることです。神のさばきは明確なものです。私たちに関しては聖徒ですから、いよいよ聖なる者とされましょう。

主はすぐに来られて、万物の最後を迎えます。たとえそれが数十年後であったとしても、振り返るとそれはすぐに感じるでしょう。もしかしたら、私たちの寿命がすぐに終わって、すぐに主とお会いするかもしれません。または主イエスが再臨の

さばき主として来られるかもしれません。この世は人間個人にとって長くはないのです。

ですからむしろ手をこまねいて見ていないで、来てくださいと祈りましょう。それが、自分の人生を数えることであり、行くべきところを明確にして正しい道に歩む動機ともなるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあつて何を実践しますか？

